

なるほど!
ザ・ファンド

Vol.218

Q.

株式に投資するときに参考になる指標にはどんなものがありますか？

A.

「PER」「PBR」のように株価が割安か割高かの判断などに活用される参考指標があります。

- ◆ 株式の価値を評価する場合には、単純に株価を比較するのではなく、様々な指標を用いることができます。**PER（株価収益率）やPBR（株価純資産倍率）をはじめとして株価が割安なのか割高なのかをみるだけでなく、株式投資の判断の際に参考にされる指標の主なもの**として右下の表のような指標があげられます。株式に投資する際には、こうした指標を基に総合的に判断することが重要だと考えられます。
- ◆ PERは株価を利益の面から評価するのに用いられる指標で、同業種の銘柄間での比較などに使用します。**利益成長の高い企業ほど、将来の株価上昇への期待感からPERの数値が高くなる傾向があります。**
- ◆ PBRは株価を純資産の面からみる指標です。**日本株のPBRは、欧米株と比べて割安な水準（PBR1倍割れ）にある企業の割合が多い傾向があります。**
- ◆ ROE（自己資本利益率）は株主の立場から見て、企業に投資した資金がどのように活用され利益をあげているかを示す指標であり、一般的に**ROEの数値が高い企業は株式市場からの評価が高くなる傾向があります。**

主な参考指標の種類と考え方

例えば2社の例から参考指標を算出すると・・・

	A社	B社
株価	1,000円	1,600円
発行済み株式数	1億2,500万株	5,000万株
当期純利益	70億円	66億円
純資産（自己資本）	700億円	1,100億円
1株当たりの配当金	20円	80円



参考指標	A社	B社
PER (株価収益率)	17.9倍	12.1倍
PBR (株価純資産倍率)	1.8倍	0.7倍
配当利回り	2.0%	5.0%
ROE (自己資本利益率)	10.0%	6.0%

右上の表より以下のことが考えられます。

- PERでは、A社17.9倍と比べてB社12.1倍の方が株価が割安と考えられる。
- PBRでは、A社1.8倍と比べてB社0.7倍の方が株価が割安と考えられる。
- 配当利回りでは、A社2.0%と比べてB社5.0%の方が高く、株価が割安と考えられる。
- ROEでは、A社10.0%の方がB社6.0%より高く、自己資本を効率的に活用して利益を上げていると考えられる。

(注1) 左右の表のA社とB社は国内同業2社と仮定しています。

(注2) 上記の計算式に関しては、詳しくは裏面をご参照ください。

※ 上記は例示を目的とするものであり、すべてを網羅するものではありません。

※ この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

■ PER

(計算式)

$$\text{PER (倍)} = \frac{\text{株 価}}{\text{1株当たり純利益 (= EPS)}}$$

- ✓ PERは、Price Earnings Ratioの略で日本語では株価収益率と訳されます。
- ✓ PERは、企業の利益に注目した指標で、株価を1株当たり純利益*で割って倍率を求めます。
- ✓ 企業の稼ぐ利益と株価との関係から、倍率が高ければ、株価水準が「割高」、倍率が低ければ「割安」と評価します。

* 一会計期間（通常は1年間）に会社が活動した結果の全収益から、全ての費用・法人税等を差し引いた利益のこと（当期純利益ともいいます）。

■ PBR

(計算式)

$$\text{PBR (倍)} = \frac{\text{株 価}}{\text{1株当たり純資産 (= BPS)}}$$

- ✓ PBRは、Price Book-Value Ratioの略で、日本語では株価純資産倍率と訳されます。
- ✓ PBRは、企業の資産価値（物的・金融的資産をどれだけ持っているか）に注目した指標で、株価を1株当たり純資産で割って倍率を求めます。
- ✓ 企業の資産価値と株価との関係から、倍率が高ければ、株価水準が「割高」、倍率が低ければ「割安」と評価します。

■ 配当利回り

(計算式)

$$\text{配当利回り (\%)} = \frac{\text{1株当たり配当金}}{\text{株価 (= 購入時)}} \times 100$$

- ✓ 配当利回りは1株当たり配当金を株価で割った数字をパーセント表示したものです。
- ✓ 株価に対して、何%の配当があるかを示す指標として、配当による投資採算判断の目安とされています。
- ✓ 配当は利益の一部を株主に還元することをいいます。また、この還元されるお金を配当金といいます。

■ ROE

(計算式)

$$\text{ROE (\%)} = \frac{\text{当期純利益}}{\text{自己資本}} \times 100$$

- ✓ ROEは、Return On Equityの略で自己資本利益率と訳され、企業の収益性を測る指標です。
- ✓ 自己資本が、どれだけ企業の利益を生み出しているのかを表します。
- ✓ ROEが高い企業は、株主が出資した資本を効率よく使い、経営力に優れた企業とみなされる傾向があります。
- ✓ ROEは、自己資本が小さい企業の方が高くなる傾向があります。また、ROEが高い企業であっても、今後の成長性に乏しい企業では投資する魅力が低い可能性があります。

【重要な注意事項】

■ 当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■ 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■ 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■ 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■ 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■ 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。